

東京都保育人材・保育所支援センター発行フリーペーパー

ホイクマ通信

第17号

ホイクマ通信は、東京都保育人材・保育所支援センターをご利用いただき、保育の職に就かれる方への応援マガジンです。



ホイクマからのご挨拶

空が冬色から春色に変わり、風も春めき始めました。街中も桜色に染まり、子ども達の門出を喜んでいるようです。もうすぐやってくる新しい出会いもとても楽しみです。そして、子ども達も「ワクワク」先生方も「わくわく」保護者の皆様も「WAKUWAKU」感をもてる新学期にしていきたいですね。

アンケート毎回本当にありがとうございます。今後も皆様からの情報をたくさんお伝えできるホイクマでいたいと思います。

ホイクマ通信 みんなのアンケート 結果発表！

《簡単制作教えてください》

〈制作あれこれ〉

【パペット】

封筒の左右に指が入る程度の切り込みを入れると土台の完成。

【ビニール袋のおもちゃ】

折り紙やお花紙、ビーズを入れ空気を入れ結ぶ。

【モザイクアート】

①卵の殻に色を塗って乾かしておく。②画用紙に好きな絵を描き、卵の殻を貼り付ける☆ひよこ・犬・お花・ヨットなどがお勧め！

【紙皿工作】 真ん中をくり抜き、折り紙などを貼って、リースにする。

【小麦粉粘土】 お月見の日に、丸めてお団子づくり。

〈エピソード〉

～はじぎ絵～

白い画用紙に白いクレヨンで絵を描く。クレヨンの上から絵の具を塗る。⇒完成★色が見えなくて困っていた子ども達…クレヨンがはじいて描かれた絵が出てきた時の驚きの表情は印象的でした。



〈簡単制作で劇ごっこ〉

【おおきなかぶ】 かぶは、子ども達と一緒に段ボールに画用紙や折り紙をぺたぺたと貼って作りました。自分たちで作り上げたかぶで楽しく遊びました。遊びの中で、「のり」の使い方や感触を味わい、繰り返しのわかりやすい劇ごっこで言葉を育む。すばらしい！！

《ICT化・パソコン業務頑張っています》

〈良かったこと〉

- ・職員で共有しやすい。
- ・間違えて入力してもすぐに訂正できる。
- ・記録等、事務作業の合理化により業務負担が軽減できた。
- ・保護者向けに、その日の写真をアップして、喜んでいただける。子ども達の笑顔は保護者の安心につながります。
- ・日誌をつけていても、少し前の出来事などをすぐに調べられ、保育のつながり、子ども達の育ち、クラスの成長が把握しやすくなった。
- ・手書きよりも早く情報を伝えることができる。



〈エピソード〉

- ・ICT化導入時は、紙ベース記入と入力の両方の作業で時間がとられた。今は時短ができています。
- ・パソコンが一人一台ではない。パソコンの確保競争戦が静かに起こる。
- ・保存忘れて、全部消えてしまった。作業途中にもしばしば保存しましょう。
- ・パソコン苦手でも、日々の積み重ねで入力は完璧。

〈その他〉

- ・苦手な業務しかし、若い同僚に教えてもらいチャレンジしていくうちに、だんだん楽しくなってきた。今ではおたよりも作成。みなさん「やればできる！」

今回もご紹介しきれないほどの制作・ICT化に関するアンケートをたくさんお寄せいただきました。エピソードを読みながら子供たちの元気な声と、笑顔が浮かび、そして保育園から送られてくる写真を楽しみに待つ保護者の笑顔、写真で家庭での会話も増えていると思います。皆さんの日々の積み重ねが子ども達を育み、保護者を育て、そして祖父母まで笑顔にしている。ほんとに保育士って素晴らしいお仕事ですね。そして、苦手を楽しみに変えてしまう前向きな気持ちと職場の仲間との連携、チームで仕事を進めている姿が見えてホイクマもうれしく思いました。この前向きパワーで新年度も子ども達と一緒に元気に過ごしましょう。

東京都保育人材・保育所支援センター（東京都福祉人材センター内）

TEL:03-5211-2912 FAX:03-5211-1494

保育人材コーディネーターの相談支援は平日 9:00~17:30

(受付 9 時~11 時 30 分/13 時から 17 時)

@hoikuma



「地域とのかかわり」どうしていますか。



保育所保育指針では、保育所は、地域に開かれた社会資源として、地域の様々な人や場、機関などと連携していくことが求められています。保育園によっては、子ども達の様子を SNS にあげるなど、地域の方とのつながりを保護者に知ってもらうなどの工夫をしている保育園も増えてきているようです。また、園外保育や商店街の散歩、警察署、消防署見学、老人ホーム慰問、また年長さんは小学校の 1 日体験入学など、園によっても様々な活動をしているかと思います。

保護者や地域社会との連携、交流を図りつつ、子ども達のコミュニケーション能力、豊かな人間性を育みたいものですね。皆さんは、地域の方との交流どうしていますか。「地域の方に来園していただき歌やダンスを披露しています」とか、「敬老の日に地域のお年寄りを招待して伝承遊びで盛り上がります」など、みなさんの「こんなことしています」という工夫を教えてください。



令和 2 年度保育事業者セミナー (収録型 WEB 研修)

東京都保育人材・保育所支援センターでは、毎年、保育事業者向けのセミナーを開催しております。今年度は、【収録型 WEB 研修】スタイルでの開催となりました。第 1 回は、職員の定着に向けた魅力ある職場づくり、第 2 回は、安心して働ける職場づくり、そして、第 3 回は、職場のストレス管理とメンタルヘルス対応をテーマにした研修で、とりわけ第 3 回は、保育士に焦点を当て、仕事をする上でのモチベーションやストレス要因についても触れられました。例えば、保育の仕事は楽しいけれど、時間に余裕が無くなると子どもにゆっくり関わることが出来なくなり気持ちが安定しなくなるとか、不安なことを相談できずに悩んでしまいメンタル不調になってしまうこともあるそうです。心の健康って大事ですね。また、セルフケアのポイントとして、適度な休息や自分に合ったケアを知ること・見つけることが大切であることを学びました。皆さんは、ストレス発散できていますか。



令和 2 年度

～令和 2 年度東京都委託事業～

保育士就職支援セミナー

皆さんの真剣な眼差しが印象的でした

★参加者からの声★

- ・時間通りのスムーズな進行で、感染症対策もきちんとされていて安心しました。
- ・心肺蘇生の方法は、何となくは知っていたつもりでしたが、人形を使って実際にやってみることで身に付くと気づきました。ただ、感染症対策で人工呼吸ができないのが残念でした。
- ・コロナ禍以前の講義も受けてみたかったです。
- ・エプロンとマスクの脱ぎ方は知っていたつもりでしたが教えていただいて、とても納得しました。
- ・パネルシアターがとても面白く、自分もチャレンジしたい気持ちになりました。
- ・座学とグループでの話し合い、個人の取り組みの時間が丁度良かったです。



★セミナー参加者の実習を見学してきました★

セミナー終了後実習を希望される方が毎回何名いらっしゃいます。(定員 10 名) 皆さんセミナーでの学びを保育の現場で実践し、また、保育士の一日を保育現場の先生の姿から学び、意欲的に子ども達とも関わる姿を毎回見る事ができます。皆さん「はなまる」です。今回の訪問では、保育園の感染症対策についてもお話を伺ってきました。

- 保育の合間に、交代でこまめな消毒作業をしている。
- 登園時は玄関からではなく、広いベランダから入ってもらい、保護者の方の入室はご遠慮いただいている。
- 給食時は、(大人と同じくおしゃべりはなしで) ソーシャルディスタンスを確保しています。黙食
- ハート型にくりぬいた画用紙をラミネートにかけて、テーブルに設置。飛沫防止

大変さを感じながらも、楽しく工夫されている様子・先生方の温かい気持ちが伝わってきました。



令和 2 年度の就職支援研修・相談会と就職支援セミナーは、コロナ感染症拡大防止の観点から、残念ながら中止となってしまった回がありました。一方で、感染症対策を講じながら、例年とはまた違った形の開催となり、沢山の皆さんにご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。

《編集後記》 最後までお読みいただき、ありがとうございました。

「東京都保育人材・保育所支援センター」HP では、「保育所への就職支援 (マッチング)」欄にホイクマ通信のバックナンバーも掲載しています。

※紙面の都合上、アンケートの内容を一部省略・抜粋・編集させていただきました。何卒ご了承ください。

ホイクマ

検索

⇒ 同封のアンケート用紙 (ホイクマ通信ご意見番) に是非ご意見やご感想をお寄せください。

